

活動名	家庭科特別非常勤講座	報告者	家庭科
日時	6月24日(月) 13:15 ~ 15:05		
場所	作法室		
参加人数(所属)	生徒 22名(まちIV)、教員 1名		
目的	茶道を通して、災害時に動じない心や態度を学ぶ。		

まちづくり科目「防災(災害時の生活)」の授業で、名村先生による「災害時の心構」についてのお話や、「茶道実技」を教えていただきました。

初めに茶席の持ち物である帛紗・古帛紗・扇子・帛紗ばさみの説明をしていただきました。また、お辞儀の仕方、お茶のたて方、お菓子の頂き方を通して、災害時におけるコミュニケーションの大切さを教えていただきました。

名村先生ありがとうございました。

<生徒の感想>

今日の茶道において、マナーを学びました。畳のへりから16目に座ることから始まりました。その理由として扇子や懐紙を置く際や礼をする時に、相手との距離が適切に空けるためにあることが分かりました。扇子を使用する意味は、扇子は刀と同じで、相手に対して敵意のないことを表しているということを知りました。帛紗においては、心とお道具を清める意味があるということや、帛紗をたたむ方向が決められていたり、一連の流れを通して茶道には決まりがあり、礼をする際も相手の顔を見て、語先後礼そして、3秒で顔を上げることで相手への敬意を伝えることが出来るということを知りました。静かな空間にあるからこそ、自分を見直し、相手を知らうとする気持ちが高まったと思います。



